

臨床研究に関する情報公開について

西暦 2025 年 6 月 3 日

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた情報をまとめることにより行います。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんおひとりずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

利用する情報からは、お名前、ご住所など、個人が特定できる情報は削除します。また、研究の成果は学会や雑誌等で発表されますが、その際にも個人が特定できる情報は公表しません。

ご自身の診療情報を研究に使用してほしくないという場合や研究に関するお問合せなどは、以下の「問合せ先」へご連絡ください。研究への不参加を申し出られた場合にも、なんら不利益を受けることはありません。

研究課題名	手指拘縮に対するパラフィン療法と水治療法の効果比較
実施部署	医療法人財団荻窪病院 リハビリテーション室
研究責任者	斎藤 和夫
研究期間	西暦 2025 年 6 月 9 日～西暦 2026 年 3 月 31 日
研究目的と意義	術後または外傷後の手指拘縮患者さんに対し、水治療法とパラフィン療法の即時的効果を比較し、それぞれの治療法の有用性を明らかにすることを目的としています。
研究内容	<ul style="list-style-type: none">●対象となる患者さん 2020 年 4 月 1 日から 2025 年 4 月 30 日までの期間に荻窪病院に通院または入院した成人患者さんで、手外科疾患に起因する手指拘縮を有し、水治療法及びパラフィン療法を受けた患者さん。●利用するカルテ情報 リハビリテーションの経過記録●研究方法 水治療法およびパラフィン療法の毎回の施術直後に記録された ROM を抽出し、A 期（水治療法）と B 期（水治療法後にパラフィン療法）で統計的に比較検討します。
問合せ先	【本研究に関するご意見、苦情に関する相談窓口】 窓 口：斎藤 和夫（リハビリテーション室） 住 所：〒167-0035 東京都杉並区今川 3-1-24 電 話：03-3399-1101（代表） 受付時間：月～金 8：30～17：00